



会報 第71号
平成29年1月発行

新構造社

一般社団法人 新構造社
〒111-0032 東京都台東区浅草5-33-1
電話・FAX 03-5808-9976
http://shinkozo.or.jp
E-mail shinkozo@wa3.so-net.ne.jp

掲載内容

- ・第88回新構造展報告
- ・第89回展開催について
- ・第5回東京展開催について
- ・会議報告（理事会・合同委員会）
- ・各部報告（2016年度総括と今後の抱負）
- ・支部報告（支部活動状況・今後の抱負）
- ・特集・トピックス・お知らせ
- ・名簿



第88回新構造展

年頭のご挨拶

理事長 中谷 時男



会員の皆さん 新年明けまして おめでとうございます。

と申しても、昨今、あまりお目出度くない事ばかりで、今年の出だしは政治も経済も良い話はあまり聞えてきませんが、私達美術文化に携わる者は、どんな時代でも、ゆっくりと落ち着いて泰然と自分の「道」を歩いてゆきたいものであります。

日本人は道という言葉が好きな国民です。「道」というイメージを愛している。道は人生に通ずるものがあり、それぞれの職業なり、打ち込んでいるものが「道」であり、「道」とは、人の生き様そのものを云っています。先人の歩いたこの道を私達は、平和の世の中で、しっかりと踏み固めていきたいと思えます。

自分の道を自由に歩く、自由人であるということは、自分の意志で自らを律することができる人であります。私達は今、制作に邁進できる環境に感謝し自分の道を歩もうと思う。

今年89回の新構造本展は9月から6月に移行し、都美館で開催されます。

2月には第5回の東京展が国立新美術館で開催されます。

忙しく、楽しい制作の日々が続きます。皆様の力作を拝見できる日を楽しみにしております。

平成29年 新春

第88回新構造展報告 1

1. 概況

第88回新構造展が東京都美術館において平成28年9月18日～24日に開催され、約8,500人の来場者を集め、盛況裏に終わることができました。当初、出品者数の減少を心配しておりましたが、5部門による総合展としての伝統の力と出品者一人ひとりの創作への精進の賜と感謝申し上げます。また、運営に携わったボランティアの皆さんに心より御礼申し上げます。



全体として出品数は若干減少しましたが、自由で表現のバラエティに富む作品が部屋割りの工夫と相まって大変スッカリとした展示となりました。来場者からも好評でした。

また、特別審査員の安井収蔵氏による丁寧なギャラリートークと一般出品者に対する理事長の講評は出品者だけでなく、来場者にも好評で今後の創作活動に力を与えられた展覧会でした。

我々の創作活動には終着駅はありません。これからも会の伝統であるイズムにとらわれない自由で楽しい気持ちで作品を創作して節目の90周年を迎えたいと思います。

(事務局長 斉藤 猛)



2. 第88回展主要データ

展示作品数

区 分	絵画部	版画部	彫刻部	工芸部	写真部	合計
展示作品数	359	27	16	79	104	585
会員等展示点数	292	27	14	53	74	460
入選点数	67	0	2	26	30	125

(注) 会員等展示数には遺作展示を含(絵画1) 小品含(絵画52)

会員等展示者資格別明細

区 分	絵画部	版画部	彫刻部	工芸部	写真部	合計
理事監事委員	30	2	2	3	3	40
顧問	3	0	0	0	0	3
遺作	1	0	0	0	0	1
会員	194	11	4	22	15	246
準会員	42	2	1	6	18	69
会友	22	1	1	13	9	46
一般・小品	15・37		1	21	25	98
合計	344	16	9	65	70	504

3. 第88回新構造展受賞者推薦者名簿

(1) 受賞者

新構造賞・外部賞

新構造賞	絵画部	高 橋 忠 治
新構造賞	写真部	佐 藤 親 正
文部科学大臣賞	絵画部	片 桐 学 而
厚生労働大臣賞	工芸部	高 際 牧 子
東京都知事賞	絵画部	神 保 雅 春
損保ジャパン日本興亜美術財団賞	絵画部	森 靖 男

特別賞

三村賞	絵画部	小 山 博
何徳賞	絵画部	松 尾 邦 彦
三枝賞	絵画部	小 林 満 風
清浦賞	絵画部	富 田 信 明
秋山賞	版画部	木 滝 巖
寺畑賞	彫刻部	吉 田 幸 雄

絵画部・会員賞

会員賞・東洋クロス賞	絵画部	奥 山 時 雄
会員賞・ホルベイン工業賞	絵画部	富 永 ふき子
会員賞・クサカベ賞	絵画部	浦 野 洋 行

会員賞・マツダ油絵具賞

会員賞・マツダ油絵具賞	絵画部	菅 野 美穂子
会員賞・ターレスジャパン賞	絵画部	村 重 進
世界堂賞	絵画部	市 川 賢 次
東美賞	絵画部	小比賀 正 子
彩美堂賞	絵画部	湯 浅 ふさ子
テルラ賞	絵画部	三 戸 捷 史
クサカベ賞	絵画部	内 田 雅 敏
キャンパス青山賞	絵画部	山 本 祐 也
気生堂印刷所賞	絵画部	西 尾 奈 々

絵画部準会員賞

奨励賞	栗 原 豊
奨励賞	濱 田 芳 久
ホルベイン画材賞	亀ヶ谷 豊
キャンパス青山賞	正 野 京 子

絵画部会友賞

奨励賞	穂 積 彰
奨励賞	村 中 恵 子
気生堂印刷所賞	西 館 勝 義
彩美堂賞	百 本 直 子

第88回新構造展報告 2

絵画部一般賞

奨励賞 千光士 道 志
 奨励賞 高 橋 眞 司
 マツダ油絵具賞 辻 翼
 世界堂賞 斉 藤 雅 史

絵画部小品部門賞

最優秀賞 渡 邊 美栄子
 優秀賞(テルラ賞) 萩 尾 ふみ子
 優秀賞(ミュージズ賞) 大 月 二
 奨励賞 鈴 木 敏 男
 奨励賞 片 桐 由美子
 奨励賞 城 岸 美 稀
 奨励賞 筒 井 敏 夫
 奨励賞 後 藤 初 女
 奨励賞 松 尾 健三郎
 奨励賞 佐 藤 恵美子

奨励賞

奨励賞 安 田 美知子
 奨励賞 辻 定 雄
 奨励賞 濱 田 利 子
 奨励賞 藤 田 明 英

版画部

会員賞 市 川 久 雄
 準会員奨励賞 中 田 シズエ
 会友奨励賞 光 岡 良 之
 彫刻部 会 員 賞 千 田 満 昭
 準会員奨励賞 大 河 原 隆 則
 一般奨励賞 湯 尾 賢 嗣

工芸部

工芸撰賞 戸 田 智 昭
 会員賞 櫻 田 久 志
 会員賞 寺 崎 宏 光

準会員奨励賞

準会員奨励賞 上 海 みね子
 準会員奨励賞 竹 居 美知子
 会友奨励賞 森 谷 尚 子
 会友奨励賞 小 岩 井 永 子
 会友奨励賞 門 目 昌 弘
 一般奨励賞 久 保 田 直 子
 ふじや賞 高 橋 正 子

写真部

写真撰賞 池 田 雄 一
 会 員 賞 牧 野 匡 邦
 準会員奨励賞 新 井 傳 音
 会友奨励賞 果 音 子
 一般奨励賞 富 田 秀 子
 茂原印刷賞 猪 瀬 善 文
 写真部賞(一般) 庵 地 紀 子



(2) 推薦者

絵画部会員推薦 (21名)

鈴木 紀 郎	藤 川 豊 晴	三 宅 洋 子
堀 江 悦 子	瀬 戸 照 子	堅 田 芳
吉 田 弘	梶 田 和 久	後 藤 佐代美
丸 山 民 生	橋 本 定 寛	村 田 澗 子
濱 口 憲 子	千 葉 房 子	亀ヶ谷 豊
尾 山 七 夕	奥 由紀子	武 田 龍 太
加 來 信 俊	栗 原 豊	濱 田 芳 久

絵画部準会員推薦 (13名)

神 田 昭 夫	横 張 金 吾	佃 日出雄
今 林 潔	高 橋 登	鈴 木 きよ子
穂 積 彰	西 館 勝 義	村 中 恵 子
百 本 直 子	末 田 初太郎	立 田 房 子
片 桐 治 雄		

絵画部会友推薦 (7名)

辻 翼	滋 野 敏 子	斉 藤 雅 史
岡 村 美枝子	千光士 道 志	高 橋 眞 司
船 津 雅 子		

版画部会員推薦 (2名)

中 田 シズエ	山 香 和 信
---------	---------

版画部準会員推薦 (1名)

光 岡 良 之

彫刻部会員推薦 (1名)

大 河 原 隆 則

工芸部会員推薦 (1名)

上 海 みね子

工芸部準会員推薦 (7名)

松 本 寿 子	小 岩 井 永 子	小 松 和 加 子
森 谷 尚 子	磯 野 洋 子	桑 原 輝 男
中 山 由 美 子		

工芸部会友推薦 (8名)

薄 井 キヌエ	佐 藤 文 子	山 川 佳 子
荻 米 玲 子	谷 野 黎 子	鈴 木 陽 子
南 澤 みさ子	増 山 政 子	

写真部会員推薦 (10名)

新 井 傳	猪 瀬 善 文	岡 田 明 久
小 塩 寿 夫	小 松 原 司 朗	白 石 莊
畠 山 弘 之	堀 弘 明	松 井 尚 史
三 宅 治 子		

写真部準会員推薦 (3名)

折 川 文 子	城 所 政 博	古 峰 昌 子
---------	---------	---------

写真部会友推薦 (8名)

庵 地 紀 子	伊 藤 光 子	大 濱 忠 市
小 松 崎 武 美	桜 井 恒 夫	富 田 秀 子
富 永 優	松 村 昌 彦	

第88回新構造展報告 3

4. 今後の課題

(1)一般出品者への広報

- ・出品勧誘のパンフレットの工夫と配布方法（絵画教室、学校等）の検討
- ・各支部との連携強化による新人の発掘
- ・小品部門出品者から一般出品への誘導

(2)小品部門への継続応募と新規応募者の獲得

- ・出品者への情報発信（会報等）
- ・出品者の友人、知人等からの紹介依頼

(3)在籍者不出品、退会への対応

- ・高齢化による大作困難を考慮し出品要項の検討

5. 第88回展色紙寄贈者

絵画部：古川 泰司 2枚、中谷 時男 2枚、
作山 隆一 1枚、高橋 美奈子 3枚、
水谷 清子 3枚、南出 豊樹 5枚、
越後 瑤子 5枚、亀ヶ谷 豊 6枚

版画部：小田 悦子 5枚

工芸部：中村 きよ 7枚

左記、10名様より、39点の寄贈を頂きました。会期中チケットを購入して入場される方へのサービスとして抽選による色紙作品等を贈呈しました。ご協力有難うございました。

第89回展も継続して実施致したく、会員各位のご協力をお願い致します。

各部報告 1

絵画部

「第88回展について」 常務理事 工藤一二
前回87回展は、新体制になって初めての展覧会であつたので、全くの手探り状態での準備作業を行いました。連絡不十分、指示の不徹底などで、いろいろトラブルがありましたが、今回第88回展に於いては、作業内容の流れが理解され順調に進んだと思います。次回は更に検討を重ね、より以上の準備をしていきたいと考えているところです。

会員減少の心配のなか、絵画部は出品総数が359点（小品含む）、内一般が15点となり、まずまずの点数にはなりましたが一般出品者の減少が今後の検討課題となります。

また、今回、会員推薦21名、準会員推薦13名、会友推薦7名が選出されました。

小品部門においては、52点の出品があり、今後更に期待をもって頑張っていきたいと思います。

外部審査では、前回に引き続き安井収蔵先生、中野中先生をお願いして受賞作品を選出しました。

また、会期中2日間に及ぶギャラリートークが安井収蔵先生、中谷理事長、古川特別顧問、西野常務理事によって行われ、ギャラリーからも大変参考になったとの声があり、有意義であつたと思います。

次回、第89回展にむけて、スタッフ一同頑張りますので、皆様のご協力のほど、よろしくお願い致します。

版画部

「新構造展版画今昔」 版画部長 谷田川 卓
新構造展で現在につながる版画が出品されたのは昭和41年第38回展からである。

既存の版画団体と異なり斬新な発表を目指した「集団・版」から秋山静、谷田川卓、鯉淵建治、金子哲男等が加わり前衛的な版画作品が展示された。その後、埼玉から青木照雄、栃木から小塚博が更に東京、茨城から新しい

作家が増え、絵画の中に新しい版画の壁が誕生した。一方、日動画廊が版画グランプリ展を開催、版画ブームに火をつけた。新構造社から秋山、谷田川、矢山等入選。秋山は後にグランプリを受賞する。新構造展の中で版画部の活動は目立った。各美術団体から注目され評価された。

昭和51年新東京都美術館オープンに伴い版画専用展示室が設けられた。昭和53年第50回記念展で版画部が創設、秋山静が代表となる。出品作家20名31点であった。

昭和58年より、新構造社の版画を広く紹介するために、また作家の創作意欲、存在感を高めるために、会員による版画部展を、銀座の画廊で連続25年間開催した。（80回展まで）平成12年秋山静逝去。翌年、ご遺族の意志で秋山賞が設立。

その後、高齢化、病気、死去等さまざまな事情で会員の移動があつたが、独自の新しい世界を生み出そうとする制作姿勢は創立当初と変わらず健在である。現在、設立当時の作家は谷田川と高村静江の二人だけになってしまったが、版画部の番人として支えている。

私はこの小稿を90回記念展に対し、自己指導、自己実現計画準備、意識、意欲の持続を願って記した。80回記念展では「新構造の版画史」を出版した。90回展では輝く独自の世界を発表して欲しい。毎年実施しているギャラリートークは制作の意欲化に役立っている。待つのではなく、積極的な取り組みが世界を生み出す力となる。

美術団体の評価は底辺のレベルで決まる。

彫刻部

「今後の課題と抱負」 常務理事 関戸三郎
構造社から始まり新構造社に至る迄には幾多の困難を乗り越え、会が成り立っているのではないのでしょうか。過去の先輩方に少しでも追い付ける心構えを持っていないといけないと思います。

その為には、陳列終了後の状態が、緊張感のある会場

各部報告 2

にする事が出来ればと常に考えています。

彫刻部としては、過去を重んじ数も勿論大事なことでありますが、数と質が伴うのが理想です。

これからの事を含め内容の向上を目指せねばならぬと思うのが彫刻部の今後の課題であると感じております。部員の減少を大変気になっております。

質の向上を重視しながら発展に努力致す次第です。

工芸部

「第88回展について」 工芸部部长 宮脇豊子
展示方法、出品作品、ギャラリートークの点から振り返ります。

展示室の変更に伴い（第9室に工芸部、壁面の多い第10室を写真部）鑑賞しやすい新たな会場づくりを試みました。

展示室を二つのブースに区切り（第1室に会員、準会員、会友、第2室に一般出品）、第1室のエントランス部分は親しみが持てて足を踏み入れたいくなるように、また、広くとった第1室の正面には着物を配し、華やかな中にも落ち着いた雰囲気が出る展示をいたしました。凹凸やドアが2箇所あり使いづらい9室だからこそ生まれた、アイデアの詰まった展示になったと思います。

出品作品については例年同様に力作揃いでしたが、今回は特に初出品者の作品が目立ちました。染織、人形、陶芸、ガラスの各部門に作品内容も優れた初出品者があったことは特筆すべきことです。これは、会員の方々のお力添えの賜と思います。

外部審査員の安井収蔵先生によるギャラリートークでは、受賞作品以外の作品も数点、講評をいただくことができましたが、工芸部にとっては初めてのことでした。

また、工芸部によるギャラリートークは、最終日の午後1時から行いました。今回で3回目を迎えましたが、作家の作品に対する想いが観覧者にも伝わり、より深く作品鑑賞をしていただける事につながりました。17名の作家の皆さまにトークをしていただきましたが、次回は更に多くの作家の皆さまにご参加いただき、作家同志の絆を深めていただきたいと思っております。

「今後に向けて」

平成29年2月開催の新構造東京展は、第5回目となります。会員、準会員、会友のすべての皆さまの想いを伝える作品を、国立新美術館で展示できることを期待いたします。

皆様のお近くに創作活動を続けていらっしゃる作家がおられるのではないのでしょうか。

是非、新構造展を発表の場に選んでいただけるよう一層のお声かけをお願いいたします。

写真部

「本年度の総括と抱負」 常務理事 谷本 清彦
第88回展は9月会期の最終回として無事終了しました。

写真部は出品者・出品点数共に増加し、点数は第81回展以来の100点超を復活できました。部員の勧誘努力による一般入選の増加が大いに寄与しています。大判写真が約4割あり、作品の質も良好で全体として整っていたと思います。

特筆できるのは、会員佐藤親正氏が「新構造賞」を写真部として初受賞し、美術評論家安井先生のギャラリートークで、撮影手法を駆使した作品で「新構造賞」受賞作品に値すると評価されました。これは、部員にとっても励みになるので、作品制作に励んでください。展示については、今回工芸部の協力を得て展示室の変更があり、前回より余裕のある展示ができました。次回は各部同一階での展示となるので、魅せる展示になるよう努力したい。

第4回東京展は準会員まで出品資格を拡大、写真部では出品者・出品点数共に3倍と大幅に増加、展示で作品間隔が狭く出品者、観覧者から作品の個性が活かされないとの感想があったので検討を要する。作品の質は、国立新美術館に相応しいものを目指し次回レベルアップを期待します。

写真部在籍者は新会友8名を加えて58名ですが、第88回展では会員の不出品者が増加傾向にあるので準会員から10名昇格し活性化を図りました。不出品の方は作品発表に尽力ください。

次回第89回展から6月会期となり、2月第5回東京展と間隔がありませんので、作品制作と諸準備に配慮と協力をお願いします。

全国支部

「全国支部長会議、巡回展について」

支部連絡委員 理事 瀧川 隆

今年度の、全国支部長会議は、第1回を1月17日の新年顔合わせ会の日に、また第2回会議が9月11日、第88回展1次審査終了後に上野グリーンパークにて開催されました。

昨年までは、主に本部からの報告だけの会議となっていました。折角、遠方から出席頂くので、各支部長からの近況報告や本部へ要望などを聞くことを目的とした支部長会議と致しました。

出席された支部長からの活発な意見、近況報告などがあり、大変中身の濃い全国支部長会議となりました。

一方、広島巡回展については、受賞者の作品を基準として、本部担当委員員広島支部長との協議を経て、48点の作品を選定しました。結果として絵画32点、写真6点、版画6点、工芸4点を巡回作品としました。

また、本部作品の巡回展示は長野支部、茨城支部、和歌山支部、岩手支部（有志）の4か所で行いました。

なお、88回展受賞者のうち16点については、1年間預りとしてその中から全国支部展の要望により賛助作品を選定することとなります。

第89回展開催について 1

1. 概要

第89回展は下記要項の通り会期が9月から6月に繰り上げ変更となります。また、会場のフロア部屋割も一階全室となります。

今年度までの5年間、展示フロアが複数階に別れ、かつ、部屋割りが複雑で大変分かり難く来場者に大変ご迷惑をかけてきましたが、その課題も解決されることとなります。

展示フロアと部屋割りが改善され、総合展の効果を今まで以上に引き出せる状況になったと思います。

第89回展は特に、次の3点を重点項目として全員で行動をおこし是非成功させ、第90回記念展を迎えられるようご協力をお願いいたします。

- (1) 展示と企画の工夫
- (2) 作家を育てる
 - ① 現会員の創作活動への支援
 - ② 新規作家の育成
- (3) 新構造社の認知を高める活動

展覧会委員長 工藤一二

2. 出品要項抜粋

- 会場 東京都美術館（上野公園）
- 会期 平成29年6月23日(金)～6月30日(金)
午前9時30分～午後5時30分
最終日は午後2時30分終了
- 搬入日時 平成29年6月15日(木)・16日(金)
午前10時～午後4時まで
(但し16日は午後3時まで)
- 出品種目 油彩・水彩・パステル・アクリル他・
版画・彫刻・工芸・写真
小品部門（別記）
- 審査発表 平成29年6月18日(日)
- 作品規格
 - 〈絵画〉大きさ：一般 30号以上100号まで 3点まで
会友以上 30号以上130号まで 1点
会員以上 200号まで 1点
 - 〈版画〉版種・大きさ：自由 2点まで
 - 〈彫刻〉大きさ：自由 3点まで
床面積 1㎡ 300kg 以下
 - 〈工芸〉種目：陶・染織・人形・漆・ガラス・伝承・
金工・木工・皮革・和紙絵・その他
2点まで 大きさ自由
 - 〈写真〉大きさ：単写真：全紙以上全倍まで、
組写真：四切以上3点以上で構成
点数2点まで
- 搬出日時 平成29年7月1日(土)・2日(日)
午前10時～午後4時まで
(但し2日は午後3時まで)

3. 小品部門出品要項（抜粋）

- 作品種目 油彩・水彩・パステル・アクリル・
その他 6号～20号まで
- 出品料 2点まで5,000円
- 賞 優れた作品には最優秀賞、奨励賞などを授与します
- 搬出 A：直接搬入の場合は、搬出日に必ず
取りに来てください
B：宅配便の場合は、着払いにて返送
他は前記「出品要項」と同じ

4. 第89回展関連情報

画集掲載について（準会員、会友の皆様へ）

画集への作品掲載は現状準会員、会友の皆様は希望者の方について掲載をしています。

毎年掲載される方が増加していますが、第88回展の掲載者は準会員26名（準会員数81名）会友20名（会友数59名）であり約3割程度の方に留まっています。

毎年制作に大変な努力をされた結果の作品でありますので、画集に掲載されますと自分の作品履歴の記録となり、また、他の作家と総体的な比較もでき何かと有効な機能が果たせることとなります。

更に新構造社の仲間の多くの方に作品の認知度を高めることにも繋がり、友好も深まることになると思われます。

なお、何れ時期を見て会友以上全員の作品を掲載したいと考えています。

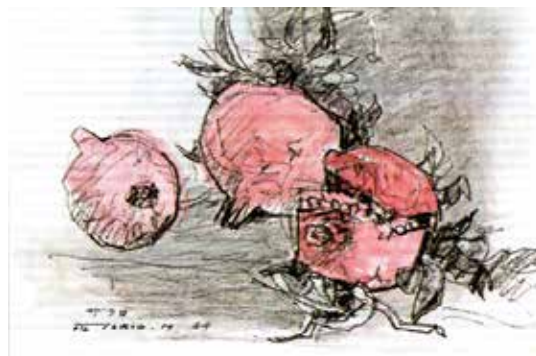
(5)一般出品者、小品部門出品に向けて

一般出品者数は5部門総数でほぼ横ばい状況ですが、絵画部門の新規応募者は減少しています。

新規の出品者を募ることは簡単ではありませんが、会員一人ひとりに強い関心をもっていただき具体的な行動をしていただきたいと思っております。

具体的にはいろいろなアプローチの仕方がありますが、教室を持たれておられる会員の方には特に積極的に出品の促進をお願いいたします。

一般応募の作品規格は最低30号です。第89回展会期まで約半年ありますので、作家を育てる取り組みを是非お願いしたいと思います。



第89回展開催について 2

次に小品部門出品は本年度37名の出品がありました。本年は応募の声掛けを多くしていただいた結果、福岡、広島、岐阜からの出品者もあり、幅広く出品していただきました。

作品のレベルも高く、一般応募作家につながる作品も

あると考えております。

第89回展はさらに声掛けを会員全員で行い、とりあえず本年度の倍増を目標にしていきたいと考えています。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

第5回記念 新構造東京展開催について

1. 概要

東京展は今回が5周年になります。東京展はエキシビジョン展（競わない模範展示）として美術団体新構造社及び所属作家のステータスを向上するために開催をしてきました。国立新美術館は主要な美術団体の公募展が開催されており、そこで開催することのステータスは多くの作家またファンも認知しています。

今回は、5周年に当たり、5年間の集大成として、本展においてこの5年間に受賞された方々に是非出品を戴き、エキシビジョンに相応しい東京展となるよう皆さまのご協力をお願いいたします。

2. 出品要項抜粋

- 会場 国立新美術館
〒106-8558 東京都港区六本木7-22-2
- 会期 平成29年2月22日(水)～3月6日(月)
休館日2月28日(火)

- 搬入日時 平成29年2月19日(日)
午前10時30分～午後4時
- 搬入方法 原則として業者またはグループ搬入。
絵画部以外は個人搬入可。
- 出品種目 絵画（油彩・水彩・パステル・アクリル他）・版画・彫刻・工芸・写真
- 出品資格 記念展につき新構造社 会友以上
- 出品手数料 20,000円（出品希望者には後日振込用紙を送付します）
- 作品規格
〈絵画〉50号以上200号まで1点
〈版画〉版種・大きさ 自由 2点まで
〈彫刻〉大きさ 自由2点まで、重量1.2t以下
〈工芸〉種目・大きさ 本展に同じ 2点まで
〈写真〉種目・大きさ 本展に同じ 2点まで
- 搬出日時 平成29年3月7日(火)
午前10時30分～午後3時

支部活動状況・今後の抱負 1

【岩手支部】 支部長 熊谷良夫

1. 支部会員の活動状況（本展・支部展以外；以下同じ）
 - (1)グループ展：本明美術協会展（熊谷）
 - (2)各種絵画展：彩虹社 春の小品展（熊谷）、エスドアルト絵画展（貴俵）、彩虹社展・歳末チャリティー展（熊谷）
2. 本展賛助出品を引き続き期待します。

【栃木支部】 支部長 豊田睦郎

1. 支部会員の活動状況
喜寿記念三人展（小林・星・柴山）：那須野ヶ原ハーモニーホール
2. トピックス
齊藤富蔵展「実験精神に貫かれた水彩画の自立と変改」平成28年2月14日宇都宮美術館主催で開催された。齊藤氏は昭和18年、第17回新構造展に入選、昭和21年、第18回展に出品された。その後一陽会にて活躍。

【埼玉支部】 支部長 古川泰司



1. 支部会員の活動状況
 - (1)グループ展：埼玉県美術展（古川、神保、大久保、片桐）、さいたま市展、さいたま市中央区美術家協会展、本明会美術協会展（小國、野村）、川越市美術協会展（古川、他8名）、上尾市美術家協会展（伊藤）、入間市美術展、日高市美術家協会絵画部展（神保）、大洋美術協会展、新構造川越展、坂戸美術協会凌展（大野、加藤、大友、片桐、稲川）、福島県在京美術協会展（作山）、黒川五郎遺作展、岡部美術家協会展、個の屹立展（小林）、ミニヨン展の18グループに延べ42名が出品、その他グループ展14グループに20名出品
 - (2)個展：古川泰司、小国守弘、伊藤英治、吉田弘、河野辺文江、大野喜代子の6名が開催

支部活動状況・今後の抱負 2

【茨城支部】 支部長 西野和治



1. 本年は30周年記念展として、本展作品19点の協賛出品を戴き、また記念事業として出品作品の記録を残すために画集を発刊した。

又、茨城県には地方美術展が多数あり、支部会員は積極的に出品活動をしている。

【千葉支部】 支部長 高橋美奈子

1. 今後の抱負

県内には新構造展作家が出品するグループがいくつかあり、それらのグループと連携を強くし支部展出品者を増加したい。また、退会者を対象に支部会員（名称は検討する）として出品参加を促進する。

2. 支部長の交代

楠本美絵子支部長が体調不良のため退任し、私、高橋美奈子が新支部長に就任しました。



3. 支部会員の活動状況

- (1)グループ展：千葉県展には理事1名、会員12名、入選9名、本年度授賞2名、千葉市展、習志野市展、船橋市展、習美会展（年5回）、平成美術会展（年2回）郷陽会展、その他小グループ展に多数出展活動
- (2)作家を育てる活動として、習美会は会員共用のアトリエを持ち研修、制作活動を実施。三木会は新構造会員11名によるグループ活動として、月2回の研修活動を実施。その他スケッチ会、スケッチ旅行を年数回実施。

【神奈川支部】 支部長 瀧川 隆

1. 今後の抱負 支部活性化への取り組み

今年度退会者14名という状況を踏まえ、下記対策を実施、支部の強化を図る。

- (1)一本釣りに作戦：常にアンテナを張り、出品者を日常の中から勧誘する。
- (2)小品部門の設置：新人が出品し易いようにする。
- (3)支部の総力を駆使し、更なる対策を検討し、実行。

2. 次年度の主な活動

- (1)支部展 平成29年7月11日～16日
- (2)さくら会展 平成29年3月3日～8日
川邊和子と12名の絵画展 高津区民ギャラリー
- (3)飯島敏子個展 静岡市ギャラリー企画
- (4)勉強会 陶芸体験実習会、絵画研究会（月1～2回）

3. 支部会員の活動状況

(1)絵画部

グループ展：地域作家グループ展（竹澤）、相模原芸術協会展（葉若）自由展ギャラリーヴェルジュ（青山、武田）、港の作家小品展（瀧川他7名）、大月市50回文化記念文化祭（川邊）、ハマ展（青木）、アトリエサンG展（菅原他5名）、ミニアチュールG展（川邊、浅地、星川）、爽風小品展（瀧川、浦野、亀ヶ谷）、川崎市美術展（青木、亀ヶ谷）

(2)工芸部

湘南P&P展（宮脇）、大洋美術協会展（飯島、草間、井上、露木、長澤、原木）。作家を育てる活動として藤乃原染色研究会（主宰飯島敏子会員）による技術指導を定期的実施、また



作品展を年数回実施して着実に作家を育て、新構造展への出品者が増加している。個展：桑原輝男（ギャラリーヴェルジュ）

4. トピックス

飯島敏子（工芸）27年11月19日裾野市から技能功労者賞を受賞

川邊和子（絵画）28年11月3日大月市第50回記念文化祭にて文化協会賞を受賞

【長野支部】 支部長 丸田隆則

1. 今後の抱負

小品展を充実し、他団体との交流を図るために長野県民芸術文化祭2016参加事業に加入し、小品展を開催した。新人1名加入でしたが、新構造の認知は進みつつあると感じており、今後も加入のメリットを追求していく。スケッチ会を年3回実施。今後人物の研修を実施の予定。支部の懸案はメンバーの増強であり、このことを最大目標に活動をしていきたいと考えています。

2. 西原巖（ギャラリープラザ長野）

【和歌山支部】 支部長 南出豊樹

1. 支部会員の活動状況

グループ展：歌山県展 招待（小川）、第2席（濱口）、入選（重石、近藤豊美子）、田辺市展（近藤瑞穂、山本、奥田）授賞

2. 今後の抱負

29年度から研究会を開催し、100号位の大作に取り組む環境を整えたい。また、県展、市展に応募できるよう研究会を重ねたい。

更に、人物デッサン会を継続し、一般参加者を歓迎し、新構造社への出品者を養成して行きたい。

支部活動状況・今後の抱負 3

【広島支部】 支部長 益村 司

1. 今後の抱負

- (1)新構造社の存在をアピールするため巡回展を継続する。
- (2)作家を育てる活動（後述掲載）を徹底して実行する。



2. 支部会員の活動状況

- (1)各種コンクールに出品
瀬戸内美術大賞展：金賞（甲斐）、奨励賞（結城、川本、松本）、入選6名、HUKUIサムホール：展奨励賞（野口）、JAM展：授賞（村中）、広島県展入選3名、熊谷守一大賞展（大島）
- (2)グループ展：新庄学園美術部OB展（近藤、斉藤、小田、佐伯）、グループ集展（寺本、益村司、村重）、新構造ひろしま小品展出品

【香川支部】 支部長 岡 啓介

1. 支部会員の活動状況

日本の絵画2016（公募）：佳作賞（岡）、香川県展（小比賀）、個展（松本）

2. 今後の抱負

本展出品者が会員3名に減少、深刻な課題であり、一般出品者を増やす取り組みをする。
その為に支部展への本部賛助出品にあわせ新構造社のコーナーを設け積極的にPRする。
また、会員は県展出品、各種グループ展に出品し認知度を高め、新規応募者の拡大に努めたい。

3. 第34回支部展開催（次年度）

- ・平成29年2月21日～26日（高松市美術館）
- ・日本美術家連盟香川作家展3月15日～20日（岡）

【福岡グループ】 代表 松田悦子

1. グループ会員の活動状況

- (1)グループ展 福岡市美術展奨励賞（西尾）、サロン・プランVingt ans展（松田）、自然を描く展（上野の森美術館）入選（宮原）、本展7名出品
- (2)研究会の実施 福岡市美術館にて5名本展出品作品批評会7名

【佐賀支部】 支部長 冬野健二郎

現在支部の活動は休止しています。

私の病気は良い方向に向かっていますが、支部展や支部活動の再開には今しばらく時間が掛かりそうです。

支部員は個々に下記の活動をしました。

私は佐賀県美術協会展、多久市展 多久市文化祭に出品、甲斐藍子さんはグループ展、絵技術年鑑社主宰のサムホール展で特選、上野の森美術展等に出品、斉藤安生氏はグループ展、県展、多久市美術協会展、佐賀県美術協会展等に出品され活躍されています。

【沖縄支部】 支部長 平井順光

支部が発足して、4年目になります。支部展の開催は難しいと思っていましたが、次年度は少人数でも支部展を開催しようと会員の意気込みが盛り上がっています。

支部活動としては、撮影会を数回実施。離島の西表島で600年前から行われてきた「国指定重要無形民俗文化財、節祭」の撮影会に参加。

支部会員3名が全琉周作写真展（沖縄県在住者で1年間での優れた作品一県内外、国外でのコンテストの入賞作品300点展示）に展示された。

展覧会・支部展（巡回展）ニュース

No.1

新構造茨城展

- 会 期 平成28年 5月20日(金)～26日(木)
- 会 場 茨城県民文化センター
- 後 援 茨城県教育委員会 茨城新聞
- 出品者 絵画23名
- 出品数 絵画30点 版画10点、工芸9点、彫刻4点（本展賛助作品19点）



第46回千葉支部展

会期 平成28年6月7日(火)～6月12日(日)
 会場 千葉県立美術館
 後援 千葉県教育委員会
 出品者 絵画47名 写真6名 工芸3名 合計56名
 来場者 750名



会場入口



工芸部



絵画部展示室



写真部展示室

第5回新構造広島巡回展

会期 平成28年11月1日(火)～11月6日(日)
 会場 広島県立美術館
 主催 新構造社、中国新聞
 後援 広島県教育委員会、広島市教育委員会 NHK広島放送局
 NPO法人ひろしまインターネット美術館
 出品数 絵画56点 版画6点 工芸4点 写真6点 合計70点
 うち本展賛助作品48点
 来場者 1500人



会場入口



展示室

第26回新構造岩手支部展

会期 平成28年11月3日(木)～11月6日(日)
 会場 盛岡市民文化ホール展示ホール
 主催 一般社団法人新構造社岩手支部
 後援 岩手県芸術文化協会・岩手日報社・盛岡タイムス社
 出品者 【支部会員】 絵画11名 彫刻1名 計12名 26点
 【第88回新構造展巡回作品】 絵画 7名 7点



会場入口



展示室

第27回栃木支部絵画展

会期 平成28年11月11日(金)～11月21日(月)
 会場 栃木県総合文化センターギャラリー
 主催 新構造社栃木支部
 出品数 絵画11点 合計29点
 来場者 260名



外看板



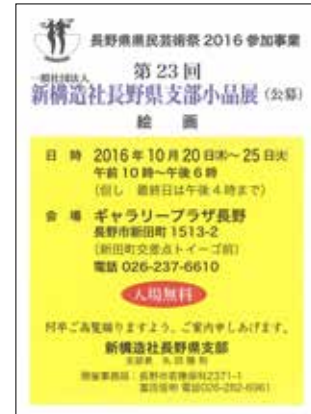
展示室

第23回長野県支部小品展

会期 平成28年10月20日(木)～10月25日(火)
 会場 ギャラリープラザ長野
 主催 新構造社長野支部 長野県県民芸術祭2016参加事業(初参加)
 出品数 51点
 来場者 308名



展示室



トピックス

No.1

・工芸部準会員の丸野内慎一氏が平成27年8月27日公益社団法人国土緑化推進機構（理事長 佐々木毅）より加工部門（木材加工）木工芸品に於いて「森の名手・名人」に認定されました。（寄稿 宮脇豊子）



木製：小物入れ・私の宝石箱

・絵画部会友西館勝義さんが新構造展会友賞を受賞し地元紙東奥日報に大きく取り上げられました。（寄稿：阿保 宏）



第4回新構造社鎌倉スケッチ会

平成28年5月15日(日)～16日(月) 神奈川支部担当による鎌倉スケッチ会が実施されました。

50名が参加し、長谷寺と光則寺、妙本寺、杉本寺と報国寺、文学館の4コースに分かれて、スケッチ、写真撮影などそれぞれの形で参加しました。

今回特筆すべき点は、絵画部だけではなく工芸部、写真部からも多数の参加があったことです。また、天候にも恵まれ、湘南鎌倉の情緒を味わいながら、有意義な時間を共有しました。

次回も多くの皆さまのご参加を願っております。



集合写真



光明寺スケッチ (中谷理事長)

クサカベ工場見学会

平成28年6月21日(火) 神奈川支部と埼玉支部合同によるクサカベ工場見学会が行われました。

㈱クサカベは、新構造社と同じ88年の歴史を持つ絵の具メーカーです。31名の参加者は、油絵の具の製造過程を見学した後、ソフトクレパスの手作りに挑戦しました。

インストラクターの説明を受けながら熱心に取り組み、3色のソフトクレパスを完成させました。

このような見学会など、皆さまの企画を提案してください。

(写真提供 井原輝義)



特集「作家を育てる」1

新構造社の最重要課題は一般出品者を増やすことです。この課題解決は簡単ではありませんが、主要な施策は「作家を育てる」ことを具体的に取り組むことです。

そこで、「作家を育てる」を実践されている具体的な事例について会報で紹介してまいります。第1回目は広島支部長の益村委員の活動について紹介させていただきます。



広島支部会員

特集「作家を育てる」 2

絵画部委員 広島支部長 益村司

新構造展に出品を始めて40年になろうとしています。若年層を中心として、美術団体への出品、所属が激減し各美術団体は例外なく、この状況に苦慮しているところ です。新構造展への出品が少しでも多くなればと思いま すし、全国の各支部で取り組まれる参考になればと思い、 紹介させていただきます。

1. 巡回展等で新構造社の存在をアピール

私は地方からの新構造展への出品を少しでも多くの方 にしていただくには大きく二つの方法があると考えま す。一つは地方での新構造社の存在をアピールすること。 広島では新構造社以外の15もの絵画団体が巡回展を 実施しています。そのために支部展だけでなく本展作品を も展示する「巡回展を実施する」こと。

2. 教室を開き出品を奨励する

二つ目は会員が「教室を開きそのメンバーに新構造展 への出品をお勧めする」ことだと思っています。

40年にわたって広島県立高校の美術教諭として活動 をしてきた私にとって「育てる」ということは日常として 行ってきたことと思っています。退職後は絵画教室を主 宰しています。現在は公民館活動二ヶ所、新聞社文化教 室、画材店の絵画教室それぞれ一ヶ所、自宅での絵画教 室を週3日と子供、大人の方の指導をしています。現職 だった頃の活動を継続しており、これが「作家を育てる」 ということにあてはまるような気がします。

高校美術教師をしていたころの各赴任校の美術部の活 動は県内外の他高校や教育行政等から注目される大変な 評価を受けました。私自身の絵画作品の評価はこうは行 きませんでした。何にしてもこの時の指導の在り方は現 在の絵画教室での指導に活かしています。

一般の大人たちが出品する広島県美術展に同一高校か ら14名の大量入選をしました。前例のない快挙となりました。また、全国公募の高校野球ポスター原画コンク ールに私の在任中4名がグランプリで採用されました。更 に、全国高校生対象の尾道四季展にて通算6名が尾道賞 を受賞し、フランス旅行の賞をいただきました。

こうした高い評価を受けた基本が今も活かされ実践の 基本になっているようですので、指導で重視すること に ついて以下に紹介させていただきます。

(1)制作設定、作品作りの考え方を話す

私はあまり褒めません。問題点を指摘することがほと んどです。自身でも辛口であると言っています。他の指 導者はあまり言及されない設定(テーマ)については技 術指導よりも多くの時間をかけ、このための労を惜しみ ません。

(2)問題点を指摘、辛口な対応

私に褒められて審査員に駄目の烙印を押されるより、 私に問題点を多く言われ、けなされ、審査員や大学教授 によし合格と言われる方が良いのではないのでしょうか。 歯の浮くような褒め言葉はまずありません。

(3)個性を損なわない個人の考え方を尊重する

先生や師匠と同じような描き方の作品をアドバイスす る場合それぞれの生徒の個性を損なわないように、個人 の考えを尊重するよう気をつけています。新構造展に出 品される広島支部の方の作品を見ていただくと、傾向の 偏りがないことがお分かりいただけると思います。

(4)分かり易く解説する

謎かけのようなアドバイスや大作家の名言のような言 い方はしません。何かの指摘をした時はその理由を付け 加えます、難しい専門用語を言ってしまった時は分かり やすく解説をするよう心がけています。

(5)技術面は具体的な資料で示す

なお、他の教室ではあまり例のない、教室で制作につ いての考え方や技術指導の自作プリントを配布していま す(次号で紹介します)すでに15種類になります。これ らも特徴的な私の進め方です。

(6)各種コンクールに出品を奨励し、そこに向けた出品制 作を指導

高校在職中もそうでしたが、現在の絵画教室や大人の方 の実習内容をコンクールに向けての作品制作を多めに しています。遅らせることのできない締め切りがあるこ とで集中しての取り組みが出来ます。大きな伸びを期待 できますし、本人も実感できるようです。指導者とは別 の審査員などから高い評価を受けた人が「先生の言われ るようにしたことよかったです」と言われることであると 考えます。入賞や入選は自信をつけ、励みになるよう です。なお最近では基礎的な練習が不足しがちになってし まうという課題、問題点も出てきてはいます。

大人の新構造展の広島支部会員の活躍もそうですが、 6年前に絵画教室を主宰してからの子供達の活躍は目覚 ましく住友生命絵画コンクールでは21万点の中から文部 科学大臣賞に選ばれました。平山郁夫美術館大賞展では 大賞を二人受賞しています。他にも、今まで様々なコン クールで毎年一人の子供さんが日本一になっています。 県単位のものには言うに及びません。今、私がさせてもら っていることに、ある意味、間違いはないと確信を持てる ようになってきています。

(7)まとめ

新構造展への出品はこれらの教室における活動の延長 上で教室のメンバーに出品を勧めるということが自然に 出来ることと思います。多くの広島の出品者はこの関係 で新構造展はもちろん、他のコンクールにも出品をして いただくなど、堂々と作品を発表されています。以前、 広島支部に最も多い時で、4名の教室開講者がおられた 時、多くの新構造展出品者があったことがこれを物語っ ています。各支部におかれましても、絵画教室での指導 が可能な方が多くいらっしゃるようにお見受けします。 是非、このように出来ればと考えているところです。

会議の報告

平成28年度 第5回理事会

1. 日時 平成28年9月7日(水) 13時～16時30分
2. 場所 新構造浅草事務所
3. 出席者 理事11名(委任状1)、監事2名
4. 議題
第1号議案 理事立候補者公募の件
理事候補者選考規程に基づき、理事立候補者を公募するため、関係資料を送付する。(12月末までに立候補者からの届出) 真野理事から規定についての反対意見があったが、議案は承認された。なお、条文の表現について今後対応することとした。
報告事項
1. 会報第70回の発刊について：タイムリーな情報発信の為、年2回発刊。
2. 決算見込みについて：多数の退会があり厳しい状況。経費節減を。
3. 第88回展の作業分担について
4. 支部長会の開催について
5. 東京展について：6月本展も考慮し、事前の意見聴取。

平成28年度 第6回理事会

1. 日時 平成28年10月11日(火)
13時45分～14時30分
2. 場所 東京都美術館
3. 出席者 理事14名(委任状1)、監事2名
4. 議題
第1号議案 支部巡回展作品の承認について承認
第2号議案 昇格推薦者の承認について承認
報告事項
1. 第88回展について(人員構成、作品数、昇格者、部門別実績等)
2. 会員動向(9月30日現在)

平成28年度 第7回理事会

1. 日時 平成28年11月16日(水) 13時～16時10分
2. 場所 新構造浅草事務所
3. 出席者 理事12名(委任状1)、監事3名
4. 議題
第1号議案 東京展、本展の出品要項について
東京展の出品資格について「会友以上で良いのではないか」との意見があり、賛否の結果全員賛成で了承された。第89回展については彫刻の重量制限の変更の他は原案とおりに承認された。
第2号議案 理事候補者選考委員の選任の件
規定に基づき、理事候補者選考委員の候補者(監事2名、委員3名、社員2名)の選考について事務局から提案があった。
真野理事から書面にて選考規程の廃止の意見があったが、議論の結果、事務局原案に対し賛成10、反対1で承認された。
報告事項
1. 会報下期号(第71回)について
2. 住所録(名簿)の件
3. 支部展開催状況について
4. 会員動向について



平成28年度 第2回合同委員会

1. 日時 平成28年8月3日(水)
2. 場所 東京都美術館
3. 出席者 理事、監事、委員
4. 議題
(1)88回展審査員の確認
(2)会計予算・決算の見通し
(3)会員動向(退会者47名、休会者6名)
(4)委員会役割分担の確認
(5)巡回展基本方針について
5. 第88回展の役割分担作業
・搬入から会期中、搬出までの各部役割の確認及び作業依頼

平成28年度 第3回合同委員会

1. 日時 平成28年10月11日(火)
2. 場所 東京都美術館
3. 出席者 理事、監事、委員
4. 議題 第88回展の反省会
・ 展覧会案内の送付資料に不備があった。今後注意。
・ 写真撮影時、2点(絵画部以外)の場合どちらの撮影かを明確に。
・ 年々色紙の寄贈が少なくなったのでポストカードを用意したが、連携が上手くいかなかった。
・ 画集印刷950部の内、掲載者329、支部118、美術館関係31、その他来賓等含め925部を配布した。
・ 小品部門出品者を50人を想定していたが、結果として37人であった。(前回出品者39人の内、再出品者は14人)

お知らせ1

新年顔合わせ会

日時・・・平成29年1月22日(日) 16時30分～
場所・・・グリーンパーク地下1階
上野公園
(西郷隆盛銅像の前のレストラン)
電話 03-3828-5571
会費・・・5,000円

会費とその納入方法について

1. 会友以上の方は資格別に年会費が決められています。
※前年度新たに推薦された方もその資格の会費となります。
 - ・委員(理事含む)・・・50,000円
 - ・特別顧問・・・38,000円
 - ・顧問・・・38,000円
 - ・会員・・・38,000円
 - ・準会員・・・20,000円
 - ・会友・・・15,000円

(注)・会費の中に出品料が含まれています。
・二部門に所属されている方は、従とする部の会費は半額です。
・画集掲載については、会員以上は年会費に含まれています。
準会員・会友は希望者のみ掲載とします。
(掲載料：8,000円)

2. 休会制度について
事情により作品を出品できない状況になった場合は休会をすることができます。この場合、休会届(書式は任意)を提出し本部の受領を受け下記の会費を納入して下さい。
 - ・委員(理事含む)・・・20,000円
 - ・特別顧問・・・15,000円
 - ・顧問・・・15,000円
 - ・会員・・・15,000円
 - ・準会員・・・10,000円
 - ・会友・・・7,500円

(注)・休会の期間は2年を限度としています。
なお、休会中の資格は継続されますので、復帰される場合はその資格で出品して下さい。

3. 納入方法について
会費納入は原則、振込となっています。
 - ・年末の会報に同封される振込用紙にて振込んで下さい。

(注)・納入期限は翌年(平成29年)1月から4月末日です。
・重複振込防止のため、振込の控えを必ず保管して下さい。
・振込用紙を紛失した場合は、事前にご自分の

資格と会費をご確認の上、下記の振込先に送金願います。

振込口座番号：
「00120-4-766521 一般社団法人新構造社」

記名料と入会金の納入について

本展出品の審査結果を受け各資格に推薦された場合、本部から通知を致しますので、内容の確認の上、授賞式までに下記の記名料を納入して下さい。

- ・会員推薦 記名料40,000円
- ・準会員推薦 〃 20,000円
- ・会友推薦 入会金15,000円

(注)・納入方法は原則郵便局から振込みとなります。
(振込先は推薦通知書に記載)
・都合で振込できない場合は、会期中の授賞式までに事務所で受領いたします。
・授賞式までに納入頂けない場合は、推薦を辞退したものと判断する場合がありますので、ご事情がある場合は会期中事務所までご一報下さい。

人事関連

1. 本部発令
平成28年7月 千葉支部長解囑
楠本 美絵子(会員)
平成28年7月千葉支部長委囑
高橋 美奈子(委員)
平成28年8月 名誉会員委囑
近藤 たいわ(委員)
2. 平成29年 絵画部審査員新資格者
新たに次の方々、審査員の資格者となりましたので名簿に登録いたします。
なお、履歴や名刺等の役職として使用しても差し支えございません。
石渡敏弘(千葉) 伊藤昌子(東京)
渡辺嬉子(千葉) 遠藤きよ子(山形)
富田信明(長野) 斉藤更生(広島)
玉村記美子(神奈川) 西原 巖(長野)
広田 勇(茨城) 小川昭造(和歌山)
※絵画部審査員の選考
審査員の資格を取得しても即審査員に当たることは出来ません。本会は会員歴15年以上の方に審査員資格を与える制度を採っています。既に名簿登録者90人以上に達しており、毎年委員会において登録名簿から投票に基づいて10名前後委囑いたします。出来るだけ多くの方々に審査に当たっていただけるよう配慮いたします。投票によって選ばれた方々には、本部より改めて審査員委囑状を発送いたしますので、審査日に出席の上、審査に当たってください。
なお、審査員選出は3月委員会で行う予定です。

お知らせ 2

3. 会員動向 (平成27年12月1日～平成28年11月30日迄)

退会者

H28年11月30日現在

部	資格	氏名	時期	事由
絵画	会員 正	四宮 達雄	H27.12.30	退会
写真	会員	森田 徹治	H27.12.24	退会
絵画	名誉会員	大倉 庸平	H27.12.31	退会
絵画	会員	山本 美佐恵	H27.12.31	退会
絵画	会員 正	石田 載子	H27.12.31	退会
絵画	会員 正	森茂 独唱	H27.11.19	死去
絵画	会員	山崎 敏子	H28.1.13	退会
絵画	会員 正	二宮 妙子	H28.1.20	退会
絵画	会友	田坂 泰吉	H28.1.22	退会
絵画	会員	田岡 恭子	H28.1.27	退会
工芸	会員 正	加藤 経子	H28.2.2	退会
絵画	会友	伏見 誠司	H28.2.11	退会
絵画	会員	本多 洋子	H28.2.11	退会
絵画	会員 正	池田 千代子	H28.2.16	退会
工芸	会員 正	石田 瑠璃	H28.2.22	退会
絵画	会員 正	宅野 弘子	H28.3.15	退会
絵画	会員 正	櫃尾 みや子	H28.3.15	退会
絵画	会員 正	澤渡 智恵	H28.3.15	退会
工芸	会友	卯柳 祥子	H28.3.15	退会
絵画	準会員	伊藤 幸子	H28.3.15	退会
絵画	会員 正	伊藤 正子	H28.3.15	退会
絵画	会員	島川 壽子	H28.3.18	退会
絵画	会員	内山 光以	H28.3.19	退会
絵画	会員	末村 幸之	H28.3.31	退会
絵画	会員	梶原 孝子	H28.3.31	退会
絵画	会友	斉藤 アサ子	H28.3.3	退会
工芸	会友	真田 つね代	H28.3.27	退会
工芸	会友	藤田 ちよみ	H28.3.27	退会
絵画	会員	山高 久江	H28.4.3	退会
絵画	会員	石井 道子	H28.4.15	退会
絵画	会員	小澤 良子	H28.4.30	退会
絵画	会友	久住 敏之	H28.5.20	退会
絵画	会員	茨城 よね	H28.5.23	退会
絵画	会員 正	高野 まゆみ	H28.5.25	退会
絵画	準会員	大貫 慶子	H28.5.27	退会

部	資格	氏名	時期	事由
絵画	会友	和田 英男	H28.5.27	退会
絵画	会員	田中 菊枝	H28.5.27	退会
絵画	会員	野間崎 豊子	H28.5.28	退会
絵画	会員	鈴木 シン	H28.5.28	退会
彫刻	会員 正	松尾 明保	H28.5.30	退会
絵画	会員	関口 文江	H28.6.16	退会
絵画	会員 正	花香 利治	H28.6.30	退会
絵画	特顧問正	前嶋 實	H28.7.6	退会
絵画	会員 正	佐藤 隆	H28.7.6	退会
絵画	会員	澤田 三郎	H28.7.6	退会
絵画	会員	森脇 笑子	H28.7.21	退会
彫刻	準会員	酒井 浩史	H28.7.26	退会
絵画	会員	矢嶋 桂子	H28.8.1	退会
絵画	会友	浅沼 條助	H28.8.4	退会
絵画	会員	河崎 和幸	H28.8.15	退会
絵画	会員	塚原 一雄	H28.8.16	死去
絵画	会友	山脇 好博	H28.8.17	退会
絵画	会員 正	藤井 政恵	H28.8.17	退会
絵画	準会員	半田 富子	H28.8.17	退会
工芸	会友	佐藤 こう	H28.8.23	退会
絵画	会員	清水 勝子	H28.8.24	退会
絵画	準会員	福島 つや子	H28.8.26	退会
彫刻	会員	門 傅正明	H28.8.31	退会
写真	会員	与儀 一夫	H28.8.31	退会
絵画	会員	甲斐 憲章	H28.8.31	退会
絵画	会員	小林 理恵	H28.8.31	退会
絵画	会員	大山 華枝	H28.8.31	退会
絵画	会員 正	穂 莉康二	H28.9.27	退会
写真	会員	富浜 幹夫	H28.11.2	退会
絵画	準会員	橋口 隆	H28.11.2	退会
絵画	会友	鈴木 多津子	H28.11.2	退会
絵画	準会員	中島 健三	H28.11.20	退会
絵画	会員	天沼 理恵子	H28.11.30	退会
絵画	会友	稲川 征四郎	H28.11.30	退会

4. 追悼の詞

森茂独唱の死を悼む

中谷時男



森茂独唱に初めて会ったのは、30年も前、第29回安井賞展の懇親会場であった。

新構造社としては久しぶりに本展への二人の入選者を出したことで、代表の本目先生は甚く喜ばれ、二人を「うちの森茂君と中谷君です。」と来場の先生方に紹介して廻ってくれたことを思い出す。



私としては安井賞展への認識も浅く、ただうろすろするだけであったが、森茂独唱は、丸い体で笑顔でゆっくりと対応していた。彼の作品「マイ

ホーム」は、ひよこを飼う大きな孵卵器の周りの数拾羽のひよこを丹念に描き込んだ200号の大作であり、本展の大賞に伍する傑作であった。

第88回新構造展で遺作「マイホーム」F8を拝見して当時のキレの良い作品を思い、胸が熱くなった。昨年宮崎展に行かれた斉藤、工藤両氏から独唱の容体も聞かされていたが、これほど早いとは、気が抜けるほど残念である。

新構造社は大きく力のある作家を失った。

独唱のひよこを前に 一合掌—



新構造社会報

名 簿 1

氏名	部	住所
理事長		
中谷時男	絵画部	千葉県習志野市
常務理事		
西野和治	絵画部	茨城県日立市
斎藤 猛	絵画部	千葉県市川市
工藤 一二	絵画部	東京都台東区
谷田川 卓	版画部	茨城県鹿嶋市
関戸三郎	彫刻部	埼玉県川口市
平沼 土史彦	工芸部	埼玉県秩父郡長瀬町
谷本清彦	写真部	千葉県松戸市
原 尚利	絵画部	東京都台東区
戸田とし子	絵画部	千葉県松戸市

理事		
真野佳子	絵画部	東京都小金井市
安納剛一	絵画部	埼玉県川口市
野本 明	絵画部	千葉県市原市
瀧川 隆	絵画部	神奈川県横浜市緑区寺山町
平鳥昭久	絵画部	千葉県千葉市若葉区

監事		
丸田隆則	絵画部	長野県長野市
竹澤勝美	絵画部	神奈川県相模原市南区
作山隆一	絵画部	埼玉県鶴ヶ島市

委員		
越後瑤子	絵画部	東京都日野区
永島秀雄	絵画部	千葉県野田市
平井順光	写真部	沖縄県那覇市
辻 忠雄	絵画部	東京都府中市
小國守弘	絵画部	埼玉県さいたま市中央区
米屋綾子	絵画部	埼玉県桶川市
浦山幹司	絵画部	千葉県船橋市
片桐学而	絵画部	千葉県千葉市中央区
松田悦子	絵画部	福岡県福岡市早良区
神永大輔	彫刻部	茨城県北茨城市
宮脇豊子	工芸部	神奈川県藤沢市
飯島敏子	工芸部	静岡県裾野市
加々美和枝	工芸部	千葉県船橋市
小倉重一	写真部	神奈川県鎌倉市
高村静江	版画部	栃木県芳賀郡芳賀町
浦尾智絵子	絵画部	茨城県水戸市
高橋美奈子	絵画部	千葉県佐倉市
高橋忠治	絵画部	茨城県那珂郡東海村
益村 司	絵画部	広島県広島市西区
伊藤英治	絵画部	埼玉県上尾市
大浦秀尚	絵画部	千葉県柏市
田辺直美	絵画部	東京都板橋区
川邊和子	絵画部	神奈川県川崎市中原区
長島さかえ	絵画部	東京都台東区

特別顧問		
古川泰司	絵画部	埼玉県川越市

顧問		
木村正則	絵画部	埼玉県南埼玉郡白岡町
門前由弘	絵画部	茨城県那珂郡東海村
吉野稔哉雄	絵画部	神奈川県平塚市

氏名	部	住所
名誉会員		
古丸健太郎	工芸部	兵庫県西脇市
小田津也二	絵画部	埼玉県北本市朝日
近藤たいわ	絵画部	広島県山県郡北広島町
酒巻敏雄	絵画部	東京都墨田区
本目雅己	絵画部	東京都目黒区

絵画部会員		
青木和江	神奈川県川崎市川崎区	
青山禮三	神奈川県相模原市南区	
赤穴 悟	広島県広島市安芸区	
浅地 富恵子	神奈川県川崎市高津区	
朝野裕子	福岡県福岡市東区	
阿部勲雄	埼玉県富士見市	
阿保 宏	千葉県松戸市	
新井美代	茨城県日立市	
荒井令子	神奈川県横浜市港南区	
荒木千賀子	千葉県野田市	
荒巻信子	静岡県静岡市駿河区	
有田正子	東京都八王子市	
有馬栄子	千葉県木更津市	
猪狩 操	神奈川県海老名市	
井口直也	埼玉県東松山市	
石山きよみ	千葉県野田市	
石山 匠	茨城県那珂郡東海村	
石渡敏弘	千葉県千葉市美浜区	
市川賢次	山口県岩国市	
伊藤静枝	東京都台東区	
伊藤昌子	東京都大田区	
井上陽子	埼玉県志木市	
井上浩子	和歌山県和歌山市松江中	
猪瀬 守	千葉県市川市	
井原輝義	埼玉県さいたま市大宮区	
岩井克英	千葉県八千代市	
岩井雅義	埼玉県さいたま市南区	
岩澤秋弘	千葉県成田市	
岩橋 勝	和歌山県海南市	
上杉紀恵子	茨城県日立市	
内田秀子	神奈川県鎌倉市	
内田雅敏	千葉県山武郡芝山町	
内田幸子	千葉県山武郡芝山町	
内野行夫	静岡県磐田市	
梅木茂宣	大阪府岸和田市	
梅沢空世	岩手県盛岡市	
裏川恵子	大阪府高槻市古曾部町	
浦野洋行	神奈川県横浜市磯子区	
遠藤きよ子	山形県山形市	
尾浦廣行	香川県高松市香川町	
大内敬子	東京都中央区	
大形久典	広島県呉市	
大久保方子	埼玉県北本市	
大島靖江	山口県岩国市	
大塚万里子	大分県東国東郡武蔵町	
大津留君枝	千葉県習志野市	
大伴好子	埼玉県坂戸市	

氏名	住所
大野喜代子	埼玉県坂戸市
大橋康隆	神奈川県川崎市高津区
大類芳子	東京都品川区
岡 啓介	香川県高松市香川町
岡澤一生	千葉県習志野市
岡野晃子	東京都町田市
小川省三	神奈川県相模原市中央区
小川昭造	和歌山県西牟婁郡白浜町
沖政長公	広島県山県郡北広島町
奥山時雄	千葉県習志野市
奥 由紀子	和歌山県田辺市
尾山七夕	広島県広島市西区
尾崎正人	和歌山県田辺市
小田原朝子	千葉県習志野市
小比賀正子	香川県高松市香川町
甲斐藍子	佐賀県多久市北多久町
甲斐君枝	広島県呉市
加来信俊	宮崎県宮崎市
嘉指大三	千葉県市原市
片貝三知男	神奈川県横須賀市
堅田 芳	神奈川県川崎市
片柳守康	東京都台東区
嘉藤 梢	山口県岩国市
加藤智美	埼玉県坂戸市
加藤久之	埼玉県川越市
加藤芳男	埼玉県東松山市
加藤良久	神奈川県川崎市麻生区
香取弘道	千葉県佐原市
金高 勇	千葉県印西市
鎌田忠男	長野県上伊那郡南箕輪村
亀ヶ谷 豊	東京都世田谷区
川栄健治	埼玉県蓮田市
川上京子	東京都府中市
河野辺文江	埼玉県川越市
川本三枝子	広島県呉市
岸 さとみ	千葉県鎌ヶ谷市
北浦孝真	千葉県船橋市
貴依 富美恵	岩手県盛岡市
楠本美絵子	千葉県八千代市
工藤捷治	神奈川県川崎市麻生区
久保三代子	長野県小諸市
熊谷良夫	岩手県盛岡市
栗原 豊	茨城県那珂郡
黒沢司郎	千葉県成田市
桑本順子	東京都小平市
後藤澄子	神奈川県川崎市多摩区
後藤佐代美	神奈川県川崎市
小林貞夫	東京都町田市金森
小林 進	東京都中野区白鷺
小林満風	埼玉県深谷市
小林睦子	栃木県大田原市
古宮稔子	千葉県船橋市
小山 博	千葉県千葉市花見川区
近藤敬一郎	東京都新宿区

氏名	住所
近藤 瑞穂	和歌山県田辺市
三枝 尚	埼玉県白岡市
斎藤 更生	広島県山県郡北広島町
齊藤安生	佐賀県多久市
佐伯孝之	広島県山県郡北広島町
坂田喜久子	千葉県野田市
桜井喜美子	大分県中津市
桜井房子	長野県長野市
佐々木とし子	千葉県木更津市
佐藤正巳	千葉県千葉市中央区
佐藤みね子	東京都大田区
澤村 稔	埼玉県ふじみ野市
柴田 興志男	東京都足立区
清水 連	神奈川県川崎市麻生区
正地康子	広島県山県郡北広島町
新谷香織	広島県広島市安佐南区
進藤正和	東京都品川区
神保雅春	埼玉県日高市
菅野美穂子	広島県広島市
菅原サキ子	神奈川県川崎市川崎区
菅原敏子	岩手県一関市
梶田和久	埼玉県川越市
鈴木和子	栃木県宇都宮市
鈴木儀一	福島県いわき市中央台飯野
鈴木浩二	神奈川県相模原市中央区
鈴木荘平	千葉県市原市
鈴木峯子	東京都台東区
鈴木紀郎	埼玉県ふじみ野市
瀬戸照子	東京都板橋区
五月女一夫	千葉県船橋市
高瀬忠男	兵庫県西脇市
高田裕子	北海道釧路市阿寒町
高橋 勲	広島県呉市
滝尾秋子	神奈川県川崎市高津区
竹内知己	埼玉県入間郡三芳町
竹内洋子	長野県長野市
武田彩也珂	神奈川県平塚市
武田正彦	神奈川県平塚市
武田龍太	岩手県岩手郡雫石町
田尻敏行	大分県中津市
田辺賀代	千葉県袖ヶ浦市
谷 芳美	千葉県鎌ヶ谷市
谷口万起子	大阪府四条畷市
谷口淑子	東京都品川区
谷輪 清	東京都台東区
玉川洋子	広島県山県郡安芸太田町
玉村 記美子	神奈川県川崎市多摩区
田村亮司	神奈川県横浜市緑区
田屋耕作	千葉県君津市
多和靖展	埼玉県川越市
千葉房子	埼玉県北本市
津軽石 信一	茨城県日立市
津郷正敏	香川県丸亀市綾歌町
堤 貞男	千葉県花見川区南花園

新構造社会報

名 簿 2

氏名	住所
津村 泰子	東京都葛飾区
手塚 雅世	神奈川県川崎市麻生区
寺内 敏一	東京都江戸川区
寺本 洋子	広島県広島市安佐北区
土斐崎 瑞子	福岡県福岡市早良区
刀馬 明	山口県柳井市
飛田 洋一郎	東京都羽村市
富田 信明	長野県長野市
富永 ふき子	埼玉県川越市
豊田 陸郎	栃木県宇都宮市
豊久 拓造	広島県尾道市御調町
内藤 郷子	神奈川県川崎市麻生区
内藤 美智子	長野県須坂市
中井 幸子	和歌山県海南市下津町
中石 梢	広島県呉市
中嶋 芳子	東京都台東区
中野 潔	福岡県豊前市
中村 隆義	岩手県盛岡市
成瀬 忠	東京都港区
西尾 奈々	福岡県福岡市早良区
西原 巖	長野県長野市
野口 美佐子	広島県呉市
野村 寛次	埼玉県行田市
橋本 定寛	埼玉県川越市
畑 順子	千葉県白井市
花鳥 喜代子	千葉県佐倉市
塙 千恵子	茨城県那珂郡東海村
濱口 憲子	和歌山県和歌山市
濱田 芳久	千葉県長生郡
原田 茂	埼玉県越谷市
葉若 幸子	神奈川県相模原市南区
坂内 秀	福島県大沼郡会津美里町
平良木 敏雄	埼玉県日高市
平田 源也	兵庫県赤穂市
広田 勇	茨城県日立市
藤井 増美	宮城県宮崎市
藤岡 節子	千葉県木更津市
藤川 豊晴	埼玉県川越市
藤田 宏子	東京都府中市
藤本 節子	千葉県八千代市
藤本 敏子	千葉県野田市
冬野 健二郎	佐賀県小城市
古川 安曇	埼玉県川越市
星 嘉子	栃木県大田原市
星川 誠子	神奈川県川崎市高津区
星野 民子	埼玉県さいたま市緑区
細谷 一二	茨城県北茨城市
堀江 悦子	栃木県那須郡那珂川町
本目 博子	東京都板橋区
前澤 宮内	千葉県船橋市
前田 美子	広島県大竹市
真下 章弘	埼玉県北本市
榊 洋子	福岡県築上郡吉富町
益村 範子	広島県広島市西区

氏名	住所
松尾 邦彦	和歌山県有田郡有田川町
松田 拓道	長野県長野市
松田 豊子	福岡県糟屋郡宇美町
松田 允子	和歌山県和歌山市
松田 真人	滋賀県大津市
松竹 智子	広島県山県郡北広島町
松久 崇恵子	千葉県船橋市
松前 真奈美	広島県広島市
松村 照子	千葉県習志野市
松本 千代	広島県山県郡安芸太田町
真野 史郎	東京都小金井市
丸山 保雄	長野県長野市
丸山 民生	栃木県大田原市
三浦 康栄	東京都葛飾区
水口 暁子	千葉県船橋市
水谷 清子	東京都渋谷区
三戸 捷史	広島県呉市
南出 豊樹	和歌山県和歌山市
三宅 洋子	和歌山県和歌山市
宮崎 幸子	千葉県市原市
宮原 志司子	千葉県船橋市
宮原 智子	福岡県福岡市早良区
村重 進	広島県呉市
村田 澪子	栃木県那須塩原市
村中 直美	山口県岩国市
毛利 直道	東京都板橋区
本橋 和彦	神奈川県横浜市中区
森 靖男	千葉県千葉市緑区
安田 雄次郎	和歌山県和歌山市
安富 由美子	東京都八王子市
柳沢 文子	千葉県野田市
山内 栄実	神奈川県川崎市幸区
山崎 早苗	千葉県千葉市中央区
山下 功	東京都府中市
山下 敬三	千葉県松戸市
山田 由美	大分県中津市
山仲 正明	千葉県印旛郡栄町
山仲 靖朗	東京都中野区
山根 敏武	広島県呉市
山本 啓子	茨城県ひたちなか市
山本 裕也	和歌山県西牟婁郡上富田町
湯浅 ふさ子	千葉県千葉市稲毛区
結城 知子	広島県呉市
横越 弼	富山県高岡市
横田 紀子	埼玉県川越市
吉澤 康代	神奈川県川崎市多摩区
吉田 貴美子	東京都港区
吉田 又三	東京都台東区
吉田 弘	埼玉県比企郡小川町
吉野 妙子	東京都目黒区
吉野 實	埼玉県川越市
米屋 雅尚	埼玉県福川市
和田 信子	大分県中津市
渡辺 嬉子	千葉県野田市

氏名	住所
絵画部準会員	
相葉 當江	千葉県市川市
淡路 美千代	埼玉県春日部市
池田 進	東京都八王子市
猪野 孝子	千葉県袖ヶ浦市
今林 潔	東京都町田市
岩館 慶彦	千葉県千葉市若葉区
小野瀬 泰	埼玉県朝霞市
鹿子木 小夜子	千葉県山武郡横芝光町
片桐 治雄	埼玉県坂戸市
神田 昭夫	埼玉県さいたま市
菊地 睦美	群馬県大田原市
木佐木 卓郎	神奈川県横浜市青葉区
高野 千夏子	茨城県那珂郡東海村
正野 京子	埼玉県さいたま市
進藤 明美	千葉県袖ヶ浦市
末田 初太郎	広島県山県郡
鈴木 きよ子	神奈川県川崎市
関矢 綾子	埼玉県さいたま市
高澤 晴美	埼玉県入間郡三芳町
高橋 登	千葉県佐倉市
滝波 敦子	福井県福井市
武田 和子	神奈川県相模原市南区
立田 房子	千葉県佐倉市
田山 靖子	大分県中津市
佃 日出雄	大分県中津市
筒井 恭子	茨城県那珂郡東海村
寺内 孝子	新潟県上越市
利根川 みち代	東京都足立区
富田 桃子	東京都世田谷区
西館 勝義	青森県八戸市
百本 直子	広島県安芸郡
福澤 昭典	埼玉県上尾市
穂積 彰	千葉県習志野市
松岡 真喜子	兵庫県加古川市
松本 幸吉	神奈川県横浜市南区
村田 淳	静岡県浜松市東区
村中 恵子	山口県岩国市
村山 峰雄	新潟県十日町市
安 俊子	福島県いわき市
山口 麻由美	広島県広島市
横張 金吾	埼玉県上尾市
横山 昇	栃木県那須郡
絵画部会友	
石原 乃生子	東京都台東区
遠藤 修	千葉県柏市
遠藤 徹	千葉県旭市
大木 淑男	埼玉県北本市
岡村 美枝子	千葉県茂原市
小野口 和代	神奈川県川崎市
鏡 玲子	神奈川県川崎市
草ヶ谷 茂男	東京都台東区
斉藤 雅史	埼玉県川越市
佐藤 茂一	千葉県山武郡横芝光町

氏名	住所
佐藤 重次	神奈川県相模原市中央区
滋野 敏子	神奈川県川崎市
関谷 芳弘	埼玉県比企郡川島町
千光士 道志	和歌山県海南市
高橋 眞司	岩手県盛岡市
滝 芳江	埼玉県比企郡
竹内 守	東京都八王子市
辻 翼	神奈川県藤沢市
土居 麗子	広島県東広島市
船津 雅子	千葉県佐倉市
森 茂子	神奈川県川崎市
鷲山 令子	東京都大田区
版画部会員	
石黒 妙子	埼玉県秩山市
市川 久雄	長野県須坂市
小田 悦子	東京都文京区
小島 福男	熊本県阿蘇郡南阿蘇村
木滝 巖	茨城県鹿嶋市
小塚 幸子	栃木県宇都宮市
後藤 高子	茨城県ひたちなか市
斉藤 弘久	埼玉県さいたま市南区
清水 俊二	鳥根県松江市
中田 重稔	栃木県鹿沼市
中田 シズエ	埼玉県所沢市
西川 くみ代	埼玉県越谷市
早坂 宗太郎	山形県尾花沢市
山香 和信	神奈川県相模原市
山口 竹夫	栃木県鹿沼市
版画部準会員	
光岡 良之	栃木県芳賀郡
彫刻部会員	
市之瀬 信二	神奈川県茅ヶ崎市
浦山 不士秀	埼玉県川口市
大河原 隆則	福島県郡山市
小島 良太	埼玉県上尾市
関戸 孝子	埼玉県川口市
千田 満昭	岩手県一関市
吉田 幸雄	神奈川県横浜市
彫刻部会友	
小田切 恵子	長野県伊那市
工芸部会員	
伊藤 八右	静岡県浜松市引佐町
白井 麻美子	東京都三鷹市
大多和 誠	千葉県山武郡九十九里町
大村 嘉勝	静岡県富士市
鴨居 錦子	長野県塩尻市
川上 千尋	東京都台東区
草間 冴子	東京都台東区
小林 紀代子	長野県北佐久郡軽井沢町
櫻田 久志	秋田県能代市
島袋 常栄	沖縄県那覇市
上海 みね子	長野県飯山市
末武 光代	大阪府枚方市
鈴木 豊子	東京都墨田区

名 簿 3

氏名	住所
瀬谷 慶重	茨城県日立市
高木 康恵	東京都杉並区
高際 敦子	千葉県船橋市
寺崎 宏光	千葉県香取郡多古町
戸田 智昭	神奈川県藤沢市
中村 きよ	東京都目黒区
西出 眞	東京都練馬区
西野 春子	茨城県那珂市
萩野谷 博	茨城県那珂郡東海村
藤井 由紀子	東京都東村山市
升 國 欽 司	埼玉県新座市
榎山 直子	宮城県遠田郡美里町
横尾 元子	東京都台東区
渡邊 尚代	埼玉県さいたま市浦和区

工芸部準会員

磯野 洋子	大阪府大阪市浪速区
井上 由美	静岡県駿東郡小山町
小岩井 永子	長野県松本市
桑原 輝男	神奈川県相模原市
越山 良子	千葉県市川市
小松 和加子	長野県須坂市
竹居 美知子	東京都世田谷区
中村 恵子	埼玉県さいたま市中央区
中山 由美子	千葉県市原市
橋本 勝代	埼玉県さいたま市緑区
日高 真吾	兵庫県高砂市
松本 寿子	静岡県田方郡函南町
丸野内 慎一	秋田県湯上市
森谷 尚子	三重県松阪市

氏名	住所
----	----

工芸部会友

岩上 純一	埼玉県秩父郡
薄井 キヌエ	長野県須坂市
菊米 玲子	千葉県市原市
小島 美智子	静岡県伊豆市
佐藤 文子	長野県須坂市
鈴木 陽子	神奈川県相模原市
谷野 黎子	千葉県市原市
梅野 世津子	東京都世田谷区
露木 紀代美	静岡県沼津市
徳武 志げり	長野県長野市
長澤 由美子	静岡県裾野市
原木 孝子	静岡県裾野市
増山 政子	長野県飯山市
南澤 みさ子	千葉県袖ヶ浦市
森 陽子	神奈川県藤沢市
門目 昌弘	宮城県栗原郡
山川 佳子	長野県長野市
渡辺 千加子	東京都目黒区

写真部会員

相業 潔	千葉県市川市
青木 一郎	東京都足立区
青木 士郎	東京都練馬区
青木 忠昭	佐賀県武雄市
赤川 治男	埼玉県新座市
新井 傳	埼玉県熊谷市
池田 雄一	神奈川県横浜市磯子区
稲垣 俊彦	東京都練馬区
猪瀬 善文	埼玉県入間市

氏名	住所
----	----

岡田 明久	神奈川県藤沢市
小田 朋義	広島県山県郡北広島町
小塩 寿夫	神奈川県横浜市金沢区
小松原 司朗	神奈川県海老名市
佐藤 親正	埼玉県加須市
椎名 眞珠子	神奈川県鎌倉市
白石 荘	埼玉県久喜市
杉本 絹枝	東京都江東区
高廣 俊夫	大阪府大阪市住之江区
萩谷 恭子	東京都北区
畠山 弘之	東京都練馬区
平松 一志	兵庫県神戸市垂水区
堀 弘明	千葉県松戸市
牧野 匡邦	埼玉県川口市
松井 尚史	神奈川県平塚市
三宅 治子	神奈川県横浜市神奈川区
本橋 やよい	神奈川県横浜市都筑区
森島 一起	東京都文京区
矢澤 玉恵	長野県松本市
吉井 良平	北海道伊達市舟岡町

写真部準会員

浅倉 康典	神奈川県逗子市
新井 房子	埼玉県熊谷市
内田 寛	東京都小金井市
折川 文子	埼玉県熊谷市
城所 政博	神奈川県鎌倉市
久我 佳枝	神奈川県横浜市西区
古峰 昌子	埼玉県加須市
佐野 秋生	神奈川県藤沢市

氏名	住所
庄子和子	埼玉県川口市
寺内 孝子	新潟県上越市
林 雅代	千葉県千葉市若葉区

写真部会友

荒井 文治	埼玉県加須市
庵地 紀子	埼玉県北本市
伊藤 光子	東京都板橋区
卯木 郁朗	埼玉県久喜市
大演 忠市	沖縄県宮古島市
果 音	茨城県古河市
小菅 尚則	埼玉県加須市
小松崎 武美	埼玉県北本市
近藤 勝彦	埼玉県さいたま市南区
桜井 恒夫	埼玉県加須市
柴崎 郁三	埼玉県北本市
富田 秀子	埼玉県加須市
富永 優	東京都足立区
一柳 和文	東京都三鷹市
松村 昌彦	神奈川県横浜市港北区

私は対象を見えるようにではなく
私が思うように描くのだ

パブロ・ピカソ



＜編集後記＞

昨年のプロ野球の日本シリーズは手に汗握る好試合となり、テレビ視聴率は過去最高であったと言います。

広島、日ハム両チームの快進撃のキーワードは「選手の育成力と信頼」であったと解説されています。今、社会の中で失われている一番大切なことを見たように思われました。指揮官とプレーヤーは信頼し合える仲間であり、選手が監督を信じて育ててもらっているという信頼、「信じる」ことであったと言う。

新構造社もこのような例に倣い「作家を育てる」「信頼し合える仲間」、このことを実践することが大切だとあらためて感じた次第です。

今後会報で「作家を育てる」取り組みの実例を紹介してまいります。グループ活動、教室での育成活動等皆様からの情報をお待ちしています。

これまでの伝統と実績に加え少しでも魅力ある環境作りのため、会員皆様のご意見、ご協力をお願いいたします。

発行責任者：齊藤 猛

事務局（広報委員）：戸田とし子、安納剛一、平島昭久、宮脇豊子、大浦秀尚、田辺直美